千葉慶友会規定(会則)

2025年3月31日

〈名称と所在〉

第1条 本会は千葉慶友会と称し、事務局は会長宅に置く。ただし、資金・口座管理は会長の委任を受けた会計係が行い、口座管理上の事務所の所在地は会計宅に置く。

〈目的〉

第2条 本会は会員相互の学習上の啓発を行うことを目的とし、会員の親睦を深めつつ、塾生の卒業を目指すものである。

〈学習活動方針〉

第3条 本会は、学習を本旨とする自主・独立の学習組織であり、前条の目的を達するために次の方針に従って活動する。

1. 例会を定期的にもち会員相互の学習と情報交換の場として内容の充実に努める。
2. その他、前項の目的を達成するために必要な活動を行う。

〈会員〉

第4条 本会は原則として、千葉県に居住または勤務する慶應義塾大学通信教育課程の塾生・塾員で、本会の目的に賛同し、本会に申し込み手続きを行った者をもって組織する。

〈会員の資格〉

第5条 通信教育課程在学中の正科生に限るものとし、団体の議決権を有する。ただし休学中のものは参加し得ない。通信教育課程の卒業生(塾員)を準会員とする。

〈構成〉

第6条 公認団体は、次の各号に定める複数名の構成員により活動を行うこととする。

1. 構成員は会員と準会員とする。

2. 公認団体は、各公認団体が定める規約に基づき各公認団体内の協議により認められた塾員(通信教育課程卒業生のみ)を、準会員として構成員に加えることができる。ただし、準会員の公認団体内の活動は限定することとし、議決権を有しない。科目等履修生及び教職課程科目等履修生の活動参加は認めない。

3. 公認団体は、本会に役員 3 名以上を置き、役員の内 1 名を会長とする。役員の担当及び定員は原則として以下の通りとする。役員の兼務は認めない。

〈役員〉

第7条 慶友会規定(2024年8月6日制定)に準じて次の役員・会計監査役及び業務担当執行役を置く。

(役員)

(1)会長 1名

(2)副会長 2名

(3)会計 1名

(4)会計監査 1名

(業務担当執行役)

文学学部 1名

法学学部 1名

経済学部 1名

各学部毎に講師派遣担当を数名置く

会場係 1名

ニューズレター担当 1名

D X 担当 1名

名札担当 1名

なお、必要に応じ業務執行役の追加、統合、兼務、削減は会長判断で行うことができる。

〈役員選出〉

第8条

1. 役員は塾生から選出する。
2. 各役員の任期は **1 年に変更**とする。ただし前年度以前の役員の、総会での信任を得ての再任は拒まない。
3. 会長の立候補者がいない場合は、決定された役員候補の中から話し合いによって決定される。ただし、卒論指導中の会員は役員には就任しない。
4. 役員は立候補を優先し、立候補がない場合は、学籍番号ごとの輪番制で決定される。前年度以前の役員が輪番制により候補にあがった場合は、役員候補から除外される。

〈会費〉

第9条 本会の会員は、本会を運営するために会費を納める。

1. 会員は年会費として、塾生は 2000 円、塾員は 1000 円を一括納入する。ただし、10 月 1 日以降、翌年 3 月 31 日までに入会した会員(塾生)は半年会費として、1000 円を一括納入する。
2. 本会の財政状況によって会費を適宜見直すこととする。

〈会計〉

第10条 本会の活動に要する経費は、原則として会費によってまかなう。本会の会計年度は、毎年 4 月 1 日から翌年 3 月 31 日までとする。この資金は、第 2 条の目的を遂げるため以外には支出、または使用することはできない。

〈総会〉

第11条 総会はこの会の最高議決機関であり、年度末の 3 月に行い、**会員**をもって構成される。総会は**会員の過半数の出席者(会員の委任状を含む)**により成立する。総会では次のことを審議する。

- (1) 会則の変更
- (2) 活動報告、及び活動計画案の承認
- (3) 決算・予算案の承認
- (4) 役員候補、および業務担当執行役候補の承認
- (5) その他の重要事項の承認

〈退会規定〉

第12条 退会には、会長宛にメールまたは文書での届け出が必要である。ただし、会費が1年以上支払われなかった場合は退会とみなす。

〈規約の改正〉

第13条 本会の規約は、総会および臨時総会において**会員(会員の委任状を含む)の過半数**をもって改正することができる。

2024年3月の改訂

・会場係を2名から1名に変更、ニューズレター係と兼任とする

2025年3月の改訂

・会場係を2名から1名に変更、ニューズレター係と兼任とする。を改め会場係とニューズレター係を分ける。

・慶友会規定(2024年8月6日制定)に準じて、千葉慶友会会則を変更する。なお、千葉慶友会会則と慶友会規定に齟齬がある場合は慶友会規定を優先する。

・第4条、第5条、第6条、第7条、第8条、第11条、第12条、第13条の条項を変更する。詳細については3月22日議事録参照のこと。